

今年はいつどこで

古 林 喜 楽

ある新聞が、小生をさらしものにしたときに、年中カバンの中に水泳着を忍ばせていると書いてくれた。いくら小生が三度のめしより水泳が好きだからといつても、この年輩で寒中水泳はできない。だから夏のあいだだけ携えているのであるが、それが尾にひれがついてこんな記事になつたらしい。

先日もある新聞記者がきて、「今でも水泳着をおもちですか」（この時は三月）というので、この話をして誤解をといた次第であるが、その時フト思い出したのはゴム製の声のきこえるようにしてある耳詰めであつた。この方は豆つぶほどの小さいものであるのでカバンに入れたままになつていた。これでも見せてやろうと、カバンの中をさがしていたら、一諸に生棉まで出てきた。噂というものは、多少の根拠もあるものである。

むかしは夏に水泳の機会が少いと、一年中何だかもの足りない思いをしたものである。それが学長という激職についてからは、夏でも仲々泳ぐひまがない。それでこの頃は六月ごろから、カバンの中に水泳用具一式をいつもいれておいて、水を見たらどこでもとび込む事しているのである。そろそろシーズンがやつてきた。今年はいつどこで泳げるやら、あてにはならぬが未知の機会と未知の場所とは想像するだけでも楽しい。

凌泳会諸士の御健闘を祈りつつ

(四月三十日)

東京に居ますとなかなか泳ぐ機会も少く、夕方の風呂屋の様に混雑しているプールに這入る気にもならず、時々熱海あたりの青い海を見ると浸つて見たい誘惑を感じる事しきりです。

昔の水泳部はのんびりしていて、天の橋立に夏の合宿に行つたりしたのですが、今夏は淡路島あたりでゆつくり遊びたいと思つています。

諸兄によく

(頂戴致しました御便りより)

近況おしらせ

学七 伊藤 英二

一 つい四五日前新聞を見て、既にアジア大会の水泳予選会が行われているのかと、初めてシーズンの到来を感じた位にとかく仕事に引廻わされ勝ちな毎日を送っていましたので、心ならずも凌泳会の方々に御無沙汰していますが、皆様相変らず御元気で御活躍の事と拝察致します。

在京の凌泳会員も五六名は殖えている筈ですから例により浜川君を煩わして東京会を近々開きたいものと考えています。

二 小生も次第に「年寄」の部へ入りつゝあるので(誰ですか失敬な。学生の頃からだつて?) 過激なスポーツは見るだけにして、三年前からゴルフを始め、もう抜きさしならぬ程熱くなつていきます。半年前にハンデイ一八になつて以来此の辺が限界なのか目下行詰りと云つたところです。

三 阪神会員のニュースがさつぱり解りません、せめてシーズン前にも集つて会員の動静をキャッチして頂ければありがたいと思ひ紙上をかりておねがいします。

四 現役の部員の方々に申し上げますが、水泳部(何部でも同じ)に入つた以上は、部員である事に徹底するように希望します。中途半端な考えの部員がもし仮にあるとしたら、その方はなるべく退部する方が良いですね。アテにならないのは社会に出

でもアテにならないし、そういうのは所謂迂達が上がらない事も実証されているところです。

赤い禪とともに

学22 山本幸雄

224 303 = 660 B
凌泳会の皆様、お元気で御活躍のことと思います。

長い間御無沙汰ばかりで申訳ありません。三月末、三年間の中近東方面出張より帰国、再び皆様にお目にかかることが出来るようになり嬉しく思っていますが、どうか倍旧の御指導、御鞭撻賜りますよう願上げます。

x x x x x

飛行機はエンジンの音も好調に滑走路を走っている。見送りの人々の顔、々々、グンとこたえるものがあつて体はフンワリともち上げられた感じ。東京の街の灯が足下に輝く。さあこれで日本語ともお別れ、不自由な英語が唯一の頼り、学生時代さぼらずもつと英語の勉強しておけばよかつたと思つても後の祭り。えい、自暴棄、なるようになれと考えると、不思議なもので、自然と度胸がついて来る。生れて初めて見る外国に対する憧れ。日本

に残す淡い感傷。複雑な気持でイランへ飛立つたのは一九五五年三月

x x x x x

途中立寄つたカラチは既に盛夏だつた。トランクを開けると学生時代から使用していた赤い禪が覗いている。早速アラビヤ海で一泳ぎ。南国の太陽は熱い。フト気がつくとき真赤な夕日がアラビヤ海を染めて水平線へとおちて行く処だつた。

x x x x x

ペイルートでは地中海の紺碧の水に泳いだ。全く欧州風の街で美人がビキニスタイルで日光浴を楽しんでいるのは実に壮観。地中海の澄んだ青さと共に原色の美は亡れられない。

x x x x x

テヘラン着任早々、ペルシャ湾の離れ島へ島流し。まだ四月末と言ふのにこゝペルシャ湾はもう真夏。日中室内で四十五度。夜は砂浜にベッドをもち出して寝たが、朝四時半になると真夏の太陽が痛いように照りつける。近海には鮫があるので、沖へは出られなかつたが、赤禪をペルシャ湾の水にぬらした。日中は海へ入ると返つて暑いので、夕方ばかり。

水からあがつて、ジエテイーに釣糸をたれるのも亦一興。

赤禪が月に映つていた。

x x x x x

テヘランでは五月中旬から九月上旬までが夏。水銀柱は四十二、

生めて始める。競心伝

新一 関山 道雄

五月も半ばごろになると、東横堀川の汚い水も太陽の光をうけてキラキラ光り始める。編集局のある二階の窓からぼんやり眺めていると、きまつたように予科に入学して最初の水泳試合を思い出す。学校を出たてのころはこの思い出が「泳ぎたい心」を誘つたものだが、満五年以上もたつた今は、とてもそんな元気はない。それでも水泳の思い出は懐しいものである。その試合というのは大阪商大との定期戦、場所は宝塚プールであつた。

私にとつては生れて始めての水泳試合であつた。中学時代は野球部に籍を置いていたので、野球の試合は数十回も経験していたが、やはり大いに勝手が違い、固くなつていたので、四百メートルのレースの途中で足にケイレンを起してしまつた。ところが試合は僅少の差を争う激戦だつたので、当時の主将徳岡さんは棄権を許してくれず、「とにかく最後まで泳げ」という冷いご託宜。

やむなく一点のために腕だけで、アツプアツプと泳いだ。ひどいものだと思ひ泳ぎ終つて上つたら、先輩各位から足をもんでもらつたり、さすつてもらつたりで、愚知も恨みも吹飛んで大いに恐縮したものである。

この時、ボロの試合にも出してもらつたが、非常に寒くてふる

えた記憶だけが残つている。大阪勢の私のマークの男もふるえていて「ぎけ！ わだつみの声」なんて叫んでいた。この男が、今は同じ編集局の中で同僚として働いている。また、その翌年の定期戦に最後位を争つてボタンボタンと泳いだ相手が、一年後輩として同じ部に働いている。縁は味なものである。

まだまだ寒くて駄目だけれど、今年もまた真夏になつたら、杜の向いの小学校のプールへ三人で泳ぎに行きたいと思つている。選手諸君の健闘で定期戦はいつも神戸が勝つので、この二人、大いに口惜しがっている。口惜しまぎれが、「腕でこい」ということになつて、プールへ引張り出される。私も大いに暴れるのだけれど、二対一ではどうしても水を飲まされ勝ち。後輩諸君の中で、新聞屋になろうという物好きな方はいませんか。救援を期待していますよ……。

新二 小原 祥 男

一昨年暮肺浸潤の診断を受け、直ちに御影の甲南病院に入院して居りましたが経過良好で昨年十月に退院、本年三月よりものと兼松棉花部に勤務して居ります。入院中は凌泳各位の丁寧なる見舞を戴き有難う存じました。凌泳の紙上を借り深くお礼申し上げます。

皆様の御健康をお祈りして居ります。

新三 田淵 五郎

たまには暇な頃合もあるが、U君が会社に訪ねて来る時は大抵忙しい。済まないとは思いつら仲々ゆつくり合つて話すことが出来ない。凌泳原稿の催促も顔を見て思ひ出す仕末。自分の気分としては学生時代とは変らないつもりだが、時間ばかりはどうにもならない。一尤も商都大阪に居て暇をもて餘す様では凌泳会費支払もまゝならぬ訳だが。

夕暮迫る六甲学舎の一室でN教授のゼミの時間、和気暖々と過ぎたのもついこの間のことのように、肝心の勉学内容の方はもう臆ろにしか覚えていない。卒業後、織維会社に入社して人から畑違いに飛び込んだものだと言われたものだが、最近になつてローブとかシートなどの売込みに海運関係・陸運関係を廻ることも際々あり、しまつたもつと勉強して置くのだつたと反省している次第。(後輩諸君よ、一勉学は他人の為ならず)

商品の宣伝の序でに、水泳に關係したナイロン製品では競泳用及び一般用水泳パンツ(勿論女性用水着もあります)。或いはピルの屋上とか庭園又は(船舶の)甲板用の簡易プールに最適の完全防水ナイロン帆布もありますから御愛用の程を。

凌泳会員各位の御健勝を祈ります。

卒業后数年。「イヨイヨシーズンダナ。今頃ハ六甲プールデ冷イ水ヲ我慢シテ泳イデイタノニナ。」ト過ギシ日ヲ懐シム様ニナツタ。

シカン水ヘノ郷愁断チガタク、シーズントモナレバ会社デ同好者ヲ集メテ、ササヤカナガラ水泳部ト名乗リ、仕事ノ餘暇ニ近クノ小学校ノプールデ夜遅クマデ水シブキヲ上ゲテイル。水泳トノ縁ハイツマデモ切りタクナイモノダ。

コンナ私ニトツテ泳グコトトイエバ、水泳部デノ数々ノ思イ出モサルコトナガラ、今デモ時々思イ出シテハ微笑ヲ禁ジ得ナイコトガアル。

現役時代ノタシカ3年ノ時。シーズンガ終ツテ、丁度季節モ良イカラ山ヘデモ登ロウトイウコトニナリ、水泳部ノ連中56人ト学校ノ裏山ヘ行ツタ時ノコト。ブラブラウロツイテイルト、丁度池ノ畔リニ出タ。相当ニ歩イテ少シ汗バンデイタノデ、水ヲ見ルト途端ニ泳ギタクナツテシマツタ。シカン古林先生トチガツテ、コチトラハ泳グ道具ライツモ持参シテイルワケデナク、一同協議。賛否相半バシタガ、結局ハ強引ニ泳グコトニナリ、山ノ上ニ突然 **rustist** が数人出現。静カニ水ヲタタエテイタ池ヲ大イニ荒シマワツタ。池ノ畔リデ語り合ツテイタ一組ノアベツクモ、コノ

狂態ヲ正視ニ耐エズト思ツテカ、イツシカ姿ヲ消シ後ニハタダ水ニタワムレル音ノミイヤ高シ。

調子ニ乗ツタ連中ハコノ後芦屋ノ奥池デモ又暴レ、アマツサエ記念写真マデ撮ツテ帰ツタ。コノ時ノ写真ハ今デモ極秘書類トシテ抽斗ノ奥深クシマツテアルガ、時々整理ノ時ナドニトリ出シテハ、紳士然トシテイル連中ノ、アノ時ノ様子ヲ思イ出シテ一人デニンマリシテイルガ、他ノ連中、今デハドオシテイルカ、一度聞イテミタイモノダ。

「特ニ名ヲ秘ス」

Antiprostitution Law その後

新五 松 田 司 朗

傾城は城を傾きかけた事はあつたかも知れない。また国を亡ぼしたと言う史実は歴史に残されていない。して見ると近來一部のキリスト教団体や婦人層の中に於て提唱される亡国論は些か神経質的な誇大把握に過ぎるであらう。之はさる歴史学の本の序論の冒頭の一節である。四月をもつて Antiprostitution Law は発効した。

私が推測する所では現代の独身男性の多くは之があつたがため

に容易に身を処して来たのではなからうか。之がなくなつた今、容易にそのはけ口を見出さぬ儘チヨンガリの悲哀を感じておられるのではないか。斯様な現代青年のフラストレイション（欲求不満）が累積され、ばそこには大きな社会不安と言うものが醸し出されると思うのは誇大妄想に過ぎるであらうか。

Prostitution の歴史は遠く神代の巫女に始まり宇加礼女、くぐつめ、白拍子、花魁、船饅頭、夜鷹、出女、遊女、白首のトコ、とその呼び名も限りがない。彼等は何時の時代にも必要性から人間生活と離れ難い枠内にその性問題の役割を果して来たのであるが、その限界を逸脱すると、常に社会問題とされ、治安当局が取締を行つて来たのである。今迄野放しであつたかと言うと決してそうではない。江戸時代に於いて現代の暴力女給見たいな夜鷹がはりつけと言う極刑に処せられた事もあつた。唯、片方のみが罰せられた所に片手落の感は免れないのであるが、今度の法が売買双方を罰するからと言つて、一片の法律で絶滅出来ると考えるのは、賢明な諸兄の否定する所であらう。

Prostitution の原因は、貧困であり一部女性の無自覚、一部？男性の無節操等上げられるだろうが、最大の原因は貧困であると思う。現代日本に於る経済的社会構造から来る貧困が原因である。さればそれをなくするには貧乏を追放せねば根本的にはなくならないのではないか。普通の男性、女性が正常な職業に容易に就きうるし、そこから得る収入で充分文化的生活を営みえた

とするならば搾取と言う形態のもとに存した prostitution

は姿を消すであろう。貧乏と言つても全く相対的なものであり、現代の貧乏人でも古代人の生活に比較すると想像も出来ぬ程物質的には有福であろう。他を見て貧乏なのが問題である。

神代はいざ知らず、かくも以前から存したものが一朝にして、絶滅するとは考えないが、だからと言つて全く是認しようなどは毛頭思つていない。健全な独身男性にとつて、性問題は容易に解決しにくい。全く無駄なく解決しえた男は皆無であろう。唯世界に一人居たらしいそれはかの大哲学者デカルトであつたと言はれている。併し一説によると彼はどうも impotence であつたらしい。「我思う故に我あり」と言い出す風では、そうであるとしか思はれない。我々ならば「君思う故に我あり」となるからである。

そこで最後に、良策を教示しよう。チョンガーは全からく勤儉貯蓄に精励し、速かに結婚される事である。貯蓄こそは資本蓄積であり、国民経済に寄与する所であり、正に一石二鳥。勤儉、貯蓄が性は合わぬ人は、勤儉貯蓄した三十娘と結婚される事である。さすれば、三十娘の問題も一挙に解決されるであらうし、一石二鳥と言はざるを得ない。学生諸君には、水泳と勉学に励んでもらえば之又一石二鳥と思うが如何であらう。

徹底するという事

新六 細田 忠雄

自由気儘に送つた学生生活より、一個の社会人として巢立つてからすでに二ヶ月にならうとしている。

その間、朝起床するや否や夜就寝するまで極度に緊張した生活の連続であつた。朝の満員電車、勤務、勤務後の五時四十分から六時四十分までの講習、寮に帰つてはつとするのは、いつも八時すぎである。

運動する暇なんてどこにも見出せない忙しさであり、たまの休日に野球をしようと思えばグラウンドの予約というわずらわしい仕事があるし、新緑の山野を駆けめぐらうと思ひ、郊外に出かけても正に銀座の雑踏の如き騒々しさ。休日の外出は休ではなく労働だとの鉄則は破り難く、休日とは殆んど寮で寝て過している今日今頃である。

こんな時につくづく、学生時代は良かったなあと思ふ。自分の好きな時に起き、好きな講義に出て思ふ存分運動をし、疲れれば寝ていればよかつたのだ。昼の十二時頃から暗くなるまでプールですごしたあの夏の日、日影を求めて暮を楽しんだあの日々。合宿で思ふ存分疲れ切るまで泳いだ楽しい日々。もう二度とかつての日々は帰つてこないのだ。

先日の新入社員自己紹介の時「テニス部卒業」と言つた者がいた。学生時代を振り返つてみて本当に思う存分運動をやつたと言える者は幸福と思う。ふり返つてみるに自分に果してそれが言えるか。答は否である。泳ぎながら授業の事、夜のバイトの事、身体を思い思う存分力を出し切らなかつた。自分ではもう少し泳いでおけばタイムはのびるのだがと思ひながらも、明日を思い練習を止めた事が幾度あつた事か。

「中途半端」という言葉は自分の水泳に正にあてはまる。今にして思うはあの時万事を投げすてて水泳に全力をつくしていたならばという事、物事に徹底する事のいかにむづかしいかを今にしてしみじみ思う。

後輩諸君よ!!水泳は夏だけのものだ。せめて夏の間だけでも泳ぐ事に全力を出してくれ。

これは諸君に勝つてもらうために言うのではない。勿論、全力をそそげば勝つだろう。だがそれより大なる収穫を得る。それは自己満足だ。学生時代に何か一つでも良い徹底的にやつた、これだけはやつてやつてやり抜いたという誇り、自己満足を持ち得るのだ。せめて新入社員自己紹介の時に「水泳部を卒業しました」といえるだけの自信と誇りを持つてほしいのだ。それには水泳に徹底する事、それ以外にはない。

今年もそろそろ水の恋しい季節となつて来た。満員電車の雑踏の中で、高いビルの一隅で、あの冷い心持良い水の感触を思うとたまらなくなる。

後輩諸君!!自由を大いに謳歌し得るのは今を置いてない。水泳に徹底する事今を置いてはないのだ。

今年の展望

岡村司

四月下旬から水に入つてゐる。シーズン始めはスプリントよりも耐久力をつけるため長い距離を泳ぐのが常道だが、例年の如く、六甲臺のプールの冷さは定評があり部員には既に心中にふるえを来してゐるとか。今年から飛込臺下に水球練習用の板が取付けられたが皮肉なことに水球に相当、熟達してゐたと思われる人々が卒業した今では水球を苦手とする四年生以下の苦勞の種ともなりかねない代物である。それ程今年の水球の陣容は昨年、一昨年に比べ低下したことは否めない。初歩からやり直しの覚悟が必要だ。競泳の方は、こゝ三年間、関西の国公立において比較的上位の成績を挙げて来たが、常に、それらの年々における好成绩の原動力でもあつた六回生が今年卒業したので、クラブ全体の力は著しく低下したと言えよう。石本さん、岡見さん、細田さん、阿部さん、高橋さんが卒業されたので、石本さんに継ぐバタフライ泳者は皆無、細田さんの穴を埋める長距離泳者は三年永野、二年酒井、野

田の今後の精進をまつのみである。短距離に至つては皆無という現状ではクラブ全体にとつて心細い限りである。全てこれは我々、クラブ員による後進の養成、補充に怠慢であつたことと深く反省する次第である。平泳は昨年と変わらず、山口先輩が出場できないので四年北村、三年村岡を中心とし、新入生萩原を加えてプレストのトリオを構成し昨年以上の活躍が期待される。バックは岡見さんの卒業により得点力は半減したが、経験者の少いせいにか、その補充に最も困難を感じる。

今年はこの四年間のうちで一番、実力が低下したのではないかと思われる。その為、全日本国公立大会を目標としつつも、その出場資格を得る関西国公立大会の成績が問題となる。先ず、それには六月一日に予定されている京阪神三大学大会において昨年と殆ど陣容の変わらぬ阪大との勝敗が一応のパロメーターともなる。従つて、蓋を開けてみぬとわからぬが関西国公立では一応、阪大、市大がライバルとしてクロイズ・アツプされて来る。従来のように両校に対する優越の上に安閑としておれない現状である。新入生も今の所、実力未知数であり、只、今後に残されているのは練習に次ぐ練習と、完璧なチームワーク、部員各自の奮起であらう。なお、六甲臺三学部を除く他の学部に入属する部員はシニアになる校舎がはなれること、或いは勉学上の理由のため、全く練習できなくなるのは現状では如何とも仕方がないが、将来校舎が集中するようになれば、水泳部の将来も一層楽しみがもたれよう。又、我クラブは従来、全日本国公立大会については費用等の点で参加に積極的な意欲をみせなかつたが、今後、この大会を関西インカレと同様、差当つての一番の目標とするつもりであるし、又しななければならぬものである。そして東京教育大、東大等と覇を競うのが今後の課題であらう。

この大会へのクラブ員全員の参加は今年、確定的ではないが、これを一応の目標として今後、我々は進むべきものだと思う。我々は勝負にかかわらず先輩の方々が築かれた過去の輝かしい伝統に、只、努力と誠意をもつて尽すのみである。今後とも諸先輩の御後援をお願い致します。

(岡村記)

新八 宇賀史郎

昨年なかばから先輩の皆様のお目にかかつておりましたが、今年よりマネージャーを務める事になりました。本年もどうぞよろしく御願い致します。性来口下手で積極性にも欠けマネージャーとして不適任だと自分で思つておりますが、諸先輩や前任柴川さんの御指導を得まして、及ばずながら最善を尽して出来るだけの事はやる積りでおります。

本年度は別表の様に、旧三商大戦、全国国公立戦が東京で行われる予定ですし、又八月下旬に合宿を中国或いは四国地方で行いたく思つて居りますので、東京や各地の諸先輩に御迷惑を御掛けする様になると思ひますが、その節はよろしく御願い致します。又その東京遠征や合宿の為資金面で大変頭を悩まして居ります。成るべく先輩各位に御迷惑を掛けない様に致すつもりで、部員負担を出来るだけ多く致しますが、やはり昨年程度の御援助を頂戴したく存じますので、何卒よろしく御願い致します。

なお、技術面その他につきましても御指導御鞭達下さいます様御願い申し上げます。

- 古林学長の尽力で新制神戸大学も近い将来に「タコ足」大学の悩みを解決する。工学部は今年中にも六甲台に新校舎建設に着工し数年後には十一学部を擁する日本一の大学になる計画である。
- 関西水泳界の長老藤井正太郎先生は此の度御影浜近くに居を移されました。先生は御高齢にもかかわらず現在でも毎年甲南女学校で水練の指導をされています。
- 部長山田先生は今年四月から八月迄東大法学部で教鞭をとっておられます。
- 日本水泳連盟は昨年一年間会長空席のまままで当校先輩小山代が専務理事として忙務に執っておられました。今年始めにアジア大会を目前にひかえ新会長樋口氏が決まりました。
- 学十四回井上清氏は此の度順慶と改名されました。
- 新二回小原祥男氏は一昨年暮病床につかれたが、その後闘病に つとめ今春より再び元気に会社に出ています。
- この三月の卒業生の勤務地は東京三名、大阪一名、大分一名ですが、東京に行くのは新一回今枝氏以来五年振りの事です。
- 今年の現役陣容を概観すると自由型の弱い事が特に目につく。細田氏の穴が全く埋らず岡村キャップはメンバー編成に毎日頭

①昭和33年度水泳部スケジュール

4月15日	練習開始
26日	総会
5月10,11日	合同練習(於姫路分校)
6月1日	京阪神三大学水上競技大会(於西京極プール)
22日	対大阪市立大学定期戦(於六甲台プール)
7月6日	兵庫県インターカレッジ
10日	関西国公立大会(於甲子園プール)
17~21日の中2日	全国国公立大会(於神宮プール)
20日又は27日	旧三商大戦(於一橋小平プール)
8月30,31日	関西インターカレッジ(於大阪プール)
9月7日	月見の宴
合宿予定	
第一回	7月5日~15日 於六甲台プール
第二回	8月下旬 未定

○ 痛鉢巻である。フリー陣の奮起を期待する。
 ○ 長年学校当局に申請していた水球の練習用壁板が六甲台プールに完成。
 カツバ生

シーズンの初めに当つて

新七 北村 敏

昨年の秋以来しばらく人氣の絶えていたプールも近頃は人の絶ゆる時があまりない。不思議なもので昼食をあたふたとすますと、足は自然にプールに向いている。ゼミナールなどでやむを得ず泳げない日も昨年はあつたが、何となく心が定まらず、妙な気分であつたので今年はゼミナールのある日は三時限目を明けておいて練習する事にした。お蔭でゼミナールの時間の眠い事この上もなく、眼の前の横文字が上つたり下つたり、意味などチンプン、カンプン何も解らない。勿論小生講義をサボるのはお得意で、人も盛んに勧めるのであるが、近頃この種の勧誘に応ずる人間が少なくなつた。身体の鍛練のみならず頭の中も精緻に鍛れ上げようとするのであろうが、小生の如きサボリには少しもの寂しい気もする。しかし大学はやはり水泳ばかりでなく学問もする場所であるらしい。

いよ／＼今年には四年になつた。今までの三年間のことをいろいろと想い出してみようとするが、水泳以外の事は余り想い出せない。多分この大学生活最後の年も水泳以外の想い出の多くを作ることとは期待出来ないであらう。全く下手の横好きというやつで、好きこそものの：とはなつて呉れないのは残念である。

今年はプレスト・バタフライは仲々の盛況である。上でコール

している連中はこの競合いが面白いらしく、今日は何コースと競馬の様な調子で予想をたて、やれ「頑張れ！」だの「ファイト！」とぎやあ／＼云うのであるが、泳いでいる方としたらその氣持たるやである。去年はどうやら逃げ切つた形の一年下の選手にすつと先に飛び出されて、「ついていけ！」と怒鳴られる悲哀はこの上もない。「〇、一秒を争うなんて細かい話サ」と負け惜しみを云いつつも、その裏に満々の闘志を忍ばせて、最後の一年、後に悔を残さぬ練習態度をもち続けたいとひたすら願うものである。

再びシーズンを迎えて

新八 村岡 英樹

プールのまわりの木々の緑がいや増すにつれて、いよ 水泳のシーズンがめぐつて来た。四月のはじめから入れた水もようやく溜つてもう二、三日でタイムもとれそうだ。はじめのうちには美しく底まで透つて見えていた水もいつのまにか濁つて本来の緑色を帯びて来た。だがこのきたない水を見ても今年こそはというファイトが湧きおこつて来る。速くなるぞという野心が僕の胸を熱くする。

僕の水泳生活もこれで三年目を迎えた。はじめは何の気なしに入つてクロールをやつていたが苦しいだけで全然お話にならなかつた。二年目はプレストに転更した。一年上の北村さんといつても一緒に泳いだお蔭で、二百は十二秒までいけた。こうして水泳部の連中と共に雨の日の練習、合宿の苦しい日々を耐えて来るに従つて、お互に親しさも増して来たし、六甲台のプールの水にもささやかな愛着を感じる様になつた。全く自己本位であつた自分の心の片隅にも、知らず／＼のうちに水泳部の一員としての自分という意識が芽えて来たのを感じる。

さて、今年はいくつかの優秀なる選手を送り出し、大巾の実力低下が懸念されていたが、水球はともかくとして、競泳ではクロールを除いては新入生によつて補われうると信じる。またフリーに於いても酒井、野田、氷野のガンバリによつては、さほど心配することもあるまいと思われる。要は多くのフレッシュマンと共に岡村主将を中心として規律ある中にも楽しく全力を尽くして練習に励むことが今年の成果の如何を決定するものだと思う。

かの細田さんも云つておられた如く、「自分に与えられた能力に於いてベストを尽せ」という言葉を僕は自分のモットーとして行きたい。遅くはあるが、自分の持つて居る全てのものを發揮すること、これこそ僕の目標であり、理想である。もし二百であと十二秒短縮という大望が達成されるならばこんなに嬉しいことは

あるまい。この野心の成就のために、所謂自己の可能性の追求のために全力を尽くさんものと心に誓つて居る。

雑 感

新八 上 村 久 治

私が水泳部の仲間入りをさせていたしたのは二年の時であつたのでまだ一シーズンしか経っていない。もともと私は幼い頃から水に親しんでは来たが、今までは河でならば流れに沿つてのんびりと泳いでみたり、向う岸に渡つて、こうらを干して帰つて来たり、又海でならば、はるかな水平線を眺めて、誰も来ぬ様な沖合で手足を動かしたり、或は又上向にひつくり返つて青空をみつめながら誰かのことに思いを走らせるのが好きだつたにすぎない。従つてプールに入つたのは昨年の五月が生まれてはじめてであつたから、誰かの様にプールに飛び込むことが恐いという程ではなかつたが、タインのタの字も知らぬ状態であつたのである。しよせん私の様な者が参加することは、多くの先輩諸兄の足手まといになるばかりであることを知らぬのではなかつたが、姫路にプールがあつたことが私を水泳部に引っぱり込む原因になつてしまつたのである。

そして、始めたのがフリースタイルだったが、これも又、お叱りを受けそうなことである。れつきとして一五〇〇米レースの存在するのに、自分自身は五〇米も泳ぐと、もう息切のするのがしやくだったので、やはりはじめたのであった。案の状結果は芳ばしくなく、ライバル視していた奥野君が、プレストに転向してしまつたので今シーズンからは、私も、その後を追つて、転向しようかと思案中である。先輩諸兄の御指導を切にお願ひする次第である。

秒進月歩

新九 野田 浩 志

「飛び込もうか」姫路の土を踏み尽そうと走り続けている時、湖を見てふと感じるのである。去年は浪人上りで冬の練習もせず青白い顔をして……これで夏中泳ぎ通せるかと不安を抱いて入部したものの、果せるかな、三商大戦の前に挫折してしまつたのである。部員諸兄にお詫び申し上げたい。

正直のところ合宿で始めて水泳を知つたと言えよう。それは秒に挑戦するものであった。蒸し暑い夏の一日一日を昼寝していることを考えれば、一秒一秒に戦を挑む我等河童は誇りを感じるのである。一方秒に生きる人間としての自覚を持たねばなるまい。

自分達は水泳を楽しむ者の集りである。然し遊泳であつてはならないと思う。いやしくも一度水に入つたなら自己の記録はどうであれ、一秒でも速めようとするのが河童魂であろう。日進月歩いや秒進分歩……これをモットーに今年一年を泳ぎ通そう。

昨年度部員 Best Time

	100m	400m	800m
Free			
山本	1'12"6		
永野		6'05"5	12'40"0
酒井		5'52"8	12'23"0
野田		6'16"4	13'02"0
Breast		200m	
北村	1'27"0	3'07"0	
村岡	1'29"0	3'17"2	
Back		100m	200m
岡村	34"8	1'15"2	2'50"7

32年度凌泳会収支決算書

水泳部収支決算書

収入之部

前年度繰越金	648
凌泳会会費	98,600
会合費	16,000
計	115,248

支出之部

水泳部援助金	65,000
通信費	5,406
交通費	2,415
印刷費	1,040
会合費	17,736
雑費	7,430
残高	16,221
計	115,248

収入之部

前年度繰越金	11,023
水泳部部費	35,000
凌泳会援助金	65,000
育友会 " " "	7,500
水連からの "	1,000
会合費	9,500
雑収入 (切符売上外)	8,240
計	137,263

支出之部

水連加盟費	2,500
旧三商大戦援助金	3,000
試合費用	5,650
合宿費用	62,620
遠征費用	17,925
交通費	6,390
通信費	6,976
印刷費	1,220
出張費	1,000
薬品代	3,980
会合費	13,040
施設費(ゴール代)	5,000
雑費	7,342
残高	,620
計	137,263

33年度凌泳会予算案

水泳部予算案

収入之部

凌泳会会費	90,000
会合費	15,000
前年度繰越金	16,221
計	121,221

収入之部

凌泳会援助金	70,000
水泳部部費	40,000
育友会援助金	7,500
雑収入	5,000
前年度繰越金	620
計	123,120

支出之部

水泳部援助金	70,000
通信費	7,000
交通費	6,000
印刷費 (凌泳発行を含む)	15,000
会合費	18,000
雑費	5,221
計	121,221

支出之部

水連加盟費	3,000
試合費用	6,000
合宿費用	70,000
遠征費用	30,000
交通費	5,000
通信費	2,000
印刷費	1,000
薬品	3,000
雑費	3,120
計	123,120